



Contents

- ◇ 会長室から、こんど～です
- ◇ 経営まめ知識：『タイム・イズ・マネー???
マネー・イズ・タイム???'』について
- ◇ いまさら聞けない銀行のあれこれシリーズ

9

2014 Vol.130



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、
企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆ ㈱大成経営開発 財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆ ㈱大成財産コンサルタンツ 相続税申告・終活相談・資金調達運用
会社売買・生命保険損害保険・不動産
- ◆ ㈱アップワード エスト保険 生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆ ㈱大成アフェクション 居宅介護支援、通所介護事業
- ◆ ㈱大成グローバルトレーディング 商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

アイクス税理士法人・清永税理士事務所・飛石税理士事務所・徳留税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・
竹馬社会保険労務士事務所・社会保険労務士あきおか事務所・おかもと社会保険労務士事務所・
須賀経営労務研究所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

会長室から、こんど~です

朝夕涼しくなり秋の気配がしてきました。雨が多く暑かったり寒かったりした夏でしたので体調管理が大変だったと思いますが、夏バテされていませんか？

さて今日は**借金、クレジットカード**のお話です。

私も何枚か持っていますが皆さんはクレジットカード何枚お持ちですか？現金の持ち合わせがなくても買い物ができる便利な**クレジットカードが借金の入り口**と言う認識をお持ちでしょうか？



買い物した金額が口座から引き落とされれば利子はかかりませんが、そのため借金をしている感覚はほとんどの人が持っていないと思います。

ですが、残高不足で引き落としができないと、たちまち**10%以上の利息**を付けてクレジット会社から請求が来ます。ちょっと買すぎたので分割払い（リボ払いの利息は高い）にしたり、今消費者ローンを利用している人のうち3割以上の方がショッピングローンがきっかけになっているそうです。

日本で消費者ローンを利用しているのは1500万人で**8人に1人が利用**していることとなります。そもそもなぜ借金をするのか？借金をするという事はお金が足りないという事です。

サラリーマンの平均給与は15年間で60万近く下がっています。

確かにバブル期のように給料が上がっていく事は望めなくて、不景気だから給料が安い、会社の給料が安いから暮らしていけないなど大変な時代です。その認識をもった上で生活をしていかねばならないのです。



人生で一番大きな買い物と言われる住宅、ほとんどの人が**住宅ローン**で購入しています。

最近はローンが払えずに破産する人も増えています。

その原因は夫婦共働きで2人分の年収を基準にローンを組むところにあるとされます。2人で働いてこそ払えるローンは片方が働けなくなったらたちまち払えなくなります。35年間2人分の収入を基準にローンを組むのは危険です。ですが**1人分の収入ではローンを組めないのも現実です**。

ある本で読んだのですが、お金を使えば使うほど1円の価値が軽くなるとありました。それは使うお金の額が増えていけばいくほど1円を軽く考えるようになって浪費が加速していき、車や住宅など大きな買い物をする時は、人は財布のひもが緩くなるそうです。

何百万、何千万の買い物をするところに数万、数十万（付属品）が増えても気にならなくなります。本当に必要なものなのかを考えて使う癖をつけないと使う事が簡単になり浪費癖が付くとありました。



たくさん借金をしていると新たに借金をするのに抵抗がないのと同じで、毎日お金を使い続けると浪費癖は加速して気が付いた時は元へ戻れなくなります。

クレジットカードを使う時はしっかり考えないといけません。

生活費は収入の範囲内、いやそれ以下でやっていかなければいけません。

不要で使わないカードは会費ももたないないので解約しましょう。

ありがとうございました。

(株)大成経営開発会長近藤記



会長ブログ：近藤会長の体と会社のダイエット日記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taiseikeiei.co.jp/blog/diet>

経営まめ知識：『タイム・イズ・マネー???マネー・イズ・タイム???』について



みなさま如何お過ごしでしょうか?すっかり、朝晩凌ぎやすくなりましたね???今年は、異常気象で大変な年ですね???世界経済も国内経済も潮目が変わり大変ですが.....。今年も9月で師走の足音が聞こえそうです。

ところで今日は、オーストラリアの子供教育の話と、あるコンサルサルトの話をしてみたいと思います。

まず、オーストラリアの子供教育の話です。

それは子供に『**タイム・イズ・マネー**』の教育をするという事です。日本の学校教育の場合は、二宮金次郎の教えで『**時は、金なり**』という教えがありました。時を惜しんで勤勉に働くという意味だったと思います。勤勉さをベースとして努力する事だけを教えられた気がします。

ところがオーストラリアの場合は、その教育方針が具体的でありその方法論が確立されています。

つまり、あの有名な**時間のマトリックス**により教育をするという事です。物事の重要度と緊急性という時間の2つについて教育するという事です。

本人の人生が幸せになるように結果や成果を出すために問題を出し、それを思考させるという訓練です。帰宅後にまず自分がやらなければいけない事を書き出させる。そのうえで成果や結果を出すために重要度と緊急度を子供自身が判断して、勉強を始めるそうです。凄いですね!!

日本の**勤勉に努力する事しか教えない教育**とは、大違いですね!日本でも**成果や結果が出る努力**のやり方を教育して欲しいものです。

世の中に出て『**段取り八分**』という教えを受けました。孫子の帝王学で『**戦いは、勝負する前に決まっている**』と教えを受けました。このオーストラリア方式の教育は、そのまま社会人としても使える教育ですね!!

あと一つ時間に関わるお話で『**マネー・イズ・タイム**』というお話です。みなさまその違いがお分かりになりますか?主語の順番が、違うだけですが???意味が全然違います。それは経営者相手の経営コンサルサルトの話です。

つまりお金は、時間の経過の中で稼ぐという話です。
一獲千金では、経営は成り立ちません《笑!!》

経営自体は、色々の考え方とその方法論が時代とともにあります。

しかし、お金という利益の観点からいうと時間の経過の中でお金という適正利益を生み続ける仕掛け作りが、経営者の仕事であると帝王学では言われています。したがって『**マネー・イズ・タイム**』となる訳です。なるほど目から鱗ですね!!

先人や周りの人に教えて頂く事ばかりですね。人生『**我以外皆師**』でしょうか???そんな心境です!!

最後になりましたが、早いもので今年もいよいよラストスパートの時期になりました!!益々のみなさまのご活躍を祈念致します。



東京事務所にて
会議長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています!是非読んでください!
<http://www.taisei-gt.co.jp/blog/>

💡 いまさら聞けない銀行のあれこれシリーズ

「割引した手形が不渡りになった場合」

売上先から手形を受け、その手形を支払日前に割引料を支払って銀行に買い取ってもらい、現金化する**手形割引**という**資金調達**があります。

銀行の融資には4つの種類があり、**手形割引**、**手形貸付**、**証書貸付**、**当座貸越**があります。

その中で手形割引は、銀行としては最も行いやすい融資方法です。

なぜなら、手形割引で出した資金を銀行が回収するのに、一番回収の可能性が高いからです。

また、手形割引をした銀行は、その手形が不渡りになったら、その手形を割引した企業に買い戻してもらわなければならないため、融資と同じように手形割引でも**融資審査**が行われます。

審査は、手形を割引依頼する企業、それとその手形の振出し企業、両方の審査が行われます。

■もし、受取手形が不渡りになった場合

もし、銀行に割引してもらっていた手形が、不渡りになった場合、銀行から割引した手形の買戻しが要求されます。



その時に買戻しができないとなると、分割で支払うなどを銀行と交渉していくことになります。

買戻し資金を証書貸付として銀行が融資を出し、買戻し資金を補てんすることもあります。

しかし不渡り手形の買戻し資金の融資は、実質赤字補てんの融資ですから、その後の新規融資や手形割引が困難になることも想定しておかないといけません。

■不渡りになった後、手形の振り出し先への対応

手形が不渡りになった場合は、当然手形振出し先や裏書手形であれば、その前の裏書譲渡先に対し支払いを要求することができます。

また、いくつかの企業で裏書譲渡を経た手形であったら、直前の裏書譲渡企業をとばしてその前の企業にも支払いを要求する事もできます。

しかし手形振出し先に支払いを要求しても、不渡りを出した企業ですから、支払ってもらうことは容易にはできません。

そういった企業には、他にも多くの企業が、支払いを求めることが予想されますから、早く動くことが大切です。

取引先企業の倒産で、連鎖倒産にならないように、**経営セーフティ共済**などの保険に加入することも、企業リスクを少なくする方法では、ないでしょうか？



岡村泰

編集後記：9月に入り、朝晩はめっきり過ごしやすくなってきました。今年の夏もう終わりかなと感じています。それにしても今年は雨の多い夏でした。大雨による災害があちこちで起こってしまいました。被害にあわれた方には謹んでお見舞いを申し上げます。

